

令和8年第7回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和8年6月18日（木） 午後1時30分～

場 所 本町分庁舎会議室1

出席委員 教育長 岩久 義和

委 員 橋本 あみる 三尾 和樹 山本 亮 田口 恵美子

事務職員 伊藤事務局長・林文化スポーツ部長・花田教育次長（兼）学校教育課長・森事務局次長（兼）教育総務課長・丹羽事務局次長（兼）教育施設課長・中尾文化スポーツ部次長（兼）鉱物博物館長（兼）東山魁夷心の旅路館長・西尾教育研修所長・安江幼児教育課長・堀田発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・市川阿木高等学校事務長・青木生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長（併）中央公民館長・小池図書館長（兼）蛭川済美図書館長・原文化課長（兼）市史編さん室長・阿木高等学校佐々木教務主任

会議日程

1	開	会
2	前回議事録の承認	
3	教 育 長 報 告	
4	議	事
5	閉	会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	報第5号	専決処分の承認を求めることについて	承 認
第2	議第23号	令和9年度使用中津川市立阿木高等学校用教科用図書の採択について	承 認
第3	議第24号	令和9年度中津川市立阿木高等学校の入学定員について	承 認

■教育長 本日は山本委員が欠席ですが、3名の委員の出席をいただきましたので、委員会は成立いたします。ただいまから令和8年第7回中津川市教育委員会を始めます。

本日は阿木高等学校の教科用図書の採択の議案についてご説明いただくため、阿木高校の佐々木教務主任にご出席いただいています。よろしくお願いします。

日程第2、前回議事録の承認につきましては、回議といたします。

続いて、日程第3、教育長報告を行います。前回の定例会以降に出席した主な行事等について報告します。

5月21日は校長研修会に出席しました。年度当初の2か月間にできているべき事柄についての確認等を行いました。また、同日午後は東濃地区小中学校校長会の代議員会に東濃地区の教育長会の代表として出席してまいりました。

24日は第9回清流木曽川中津川リレーマラソン大会が開催され、ハーフの部に参加した教育委員会からの2チームはいずれも無事に完走いたしました。文化スポーツ部の皆さん、御苦労様でした。

26日は大垣のソフトピアジャパンを訪問しました。今回31回目を迎える岐阜サマー・サイエンス・スクールについて、今年もご支援をいただくようお願いをしてきました。同日夜は青少年健全育成推進市民会議総会に出席しております。27日は教頭会と東濃信用金庫育英会評議員会に出席しました。31日は苗木城築城500年記念式典が開催されました。市外からもたくさんの来場がありました。

6月1日は今年度最初の教育長訪問を福岡小学校並びに福岡中学校で行いました。橋本委員、田口委員には貴重なご感想を頂戴しました。ありがとうございました。

2日は東濃地区教育推進協議会総会に出席しました。総会後の講演会では、岐阜大学客員教授や中央教育審議会委員等を歴任されている早川三根夫元岐阜市教育長をお招きし、東濃地区88校の校長らが、校長として必要な意思決定力やマネジメント力の在り方について学びました。5日からは市議会6月定例会が始まり、16日と17日は市政一般に関する質問が行われました。11日は校長研修会に出席しております。

教育長訪問は福岡小中以外に、6月8日に第一中学校、10日に付知北小学校と付知南小学校、12日に阿木こども園、15日に苗木小学校と苗木中学校で行いました。

続いて、今後の主な行事等について報告します。明日19日は少年の主張中津川市大会に出席します。22日は市議会文教民生委員会と総合教育会議、24日は午前中に予算決算委員会に出席し、午後は第一中学校で道德の時間の指導について講話をしてまいります。25日は東濃地区教育長会、26日は教頭会、30日は市議

会 6 月定例会最終日に出席します。

7 月に入り、6 日に校長研修会がございます。7 日は江崎岐阜県知事が川上小学校を訪問されます。児童と一緒に給食を食べていただき、高学年児童 10 人との懇談も予定しています。教育長訪問は次回の定例会までに中津川幼稚園、やさかこども園、坂本小学校、坂本中学校で実施します。私からは以上です。

次に、教育委員会事務局並びに文化スポーツ部から報告をします。

伊藤教育委員会事務局長。

■事務局長 5 月 20 日の教育委員会以降における主な出席行事について報告します。

28 日は付知のぞみ幼稚園臨時総会が開催されました。参加した保護者に対して、1 つ目として、少子化の進展や適正な集団規模、市の適正化計画等の背景を、2 つ目として、これまでに付知のぞみ幼稚園理事会や付知まち協等で説明してきた経緯を、3 つ目として、令和 9 年 4 月から公立の付知保育園を公立のこども園にするという市の方針を、4 つ目として、こども園の中身と、一園化に向けたのぞみ幼稚園と行う交流や確認等を調整していくこと等の説明を行いました。保護者から意見として出されたものは、過去に示した指定管理に関すること、のぞみ幼稚園の教育内容の継承や子どもへの影響等、ご質問や不安の声がありました。今後、出された意見に対する整理を行い、改めて保護者への説明におもむく予定です。

6 月 1 日は、恵那市にあるすずめっこ杉の子こども園の園舎が新築され、お招きをいただきましたので開園式に出席しました。4 日は、学校保健会理事会に出席しました。5 日は、6 月市議会本会議が開会となり、教育委員会の議案のうち、初日議決をいただく「市内小中学校で先生が使用するパソコン 90 台の調達に関する契約締結」と「やさか地区の小学校の統合に伴い、坂下小学校を統合後の学校として利用するための改修等の費用の一部、約 1 億円の予算」について、常任委員会で審議、本会議で議決をいただきました。

8 日は、岐阜サマー・サイエンス・スクールへの参加依頼で長野県の小諸市教育委員会へ訪問、9 日は令和 9 年度新規採用予定の職員面接に参加しました。

16 日と 17 日には市議会で一般質問がありました。今回は 6 人の市議の皆さんから市政一般に関するご質問をいただきました。主なものとして、田中議員から「給食の食物アレルギー等の対応について」、小池議員からは「現行総合計画における坂本小学校建設事業について」、黒田議員からは「統廃合等した教育施設のその後の利用状況について」でした。

続いて今後の予定です。22 日には、市議会文教民生委員会で幼児教育関係の条例改正と、特別教室のエアコン設置工事の契約変更の議案を審議していただきます。

同日午後からは総合教育会議が開催されます。24日には市議会予算決算委員会で上程した補正予算を審議いただきます。25日には学校保健会総会に、30日には市議会本会議の最終日があり出席します。以上で報告を終わります。

■教育長 林文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 文化スポーツ部に関わる主な行事や事業について報告します。

5月24日、第9回清流木曾川中津川リレーマラソン大会が開催されました。200チーム1414人が参加し、けがや事故もなく無事に終わることができました。体育協会やスポーツ推進委員等、多くの皆様のご支援があつてのことと感謝しております。26日、青少年健全育成推進市民会議理事総会が開催されました。SNSを介したトラブルや特殊詐欺等、環境の変化への対応が求められております。中津川警察署の生活安全課長に御講話をいただきました。また、逆行するようですが、各区から少年補導員の推薦をいただいておりますが、人口減少が進む中、担い手不足が課題であり、今年度各地区で適正な人数を協議検討していただくことをお願いしました。

27日、30日から31日に開催される第26回明治座クラシックコンサートのPRイベントとして、ひと・まちテラスで明治座クラシックコンサートのアウトリーチコンサートが開催されました。今年のクラシックコンサートはチケット完売とのことで、私が30日に伺った際には大入袋をいただきました。

30日には、蛭川地区でWRCフォーラムエイト・ラリージャパン2026の笠置山SS、時間を競う競技コースということで、カーラリーが開催されました。こちらも無事に終了しております。31日は、苗木城築城500年記念事業の春のイベントとして、午前中は記念式典とパネリストによるトークライブ、午後はパネリストがガイドを務める苗木城跡のガイドツアーを開催しました。また、これに合わせて中津川市出身のフリーアナウンサー草野満代さんに観光大使を任命しました。式典、トークライブには約500人、ツアーには約60人に参加いただき、皆様からご好評をいただき、大変ありがたく思っております。当日は、岩久教育長、田口教育委員にも参加いただきありがとうございました。

同日午後には中津川文化会館で中津川市出身の歌手遠山洋子さんのデビュー25年ふるさとコンサートがあり、この実行委員会から寄付金100万円を受領いたしました。9月の補正予算に計上し、苗木城築城500年記念事業に活用させていただく予定です。

6月3日からは、岐阜県庁「GALLERY GIFU」で苗木城築城500年PR展示を開始しました。同日、県知事が視察され、文化課職員が同席して市長が展示内容をご案内いたしました。4日には、アジア競技大会日本代表選手の選考を

兼ねた第110回日本陸上競技選手権大会に110mハードルで出場する選手の激励会を開催しました。昨年度に続き2度目の全国大会出場で、大会は6月13日に終わっております。12日には、6月3日から始めた「GALLERY GIFU」でのPR展示に伴う物販を県庁内で行いました。お昼休みぐらいに伺ったところ、たくさんの県職員に訪れていただいております。栗にまつわるお菓子等が飛ぶように売られていました。大変ありがたく思っております。にぎわい特産館と苗木まちづくり協議会が特産品やPRグッズを販売させていただきました。

16日から17日、市議会一般質問があり、松崎議員から「中京学院大学の移転に伴う部活動への影響について」、木下議員から「社会教育における木育の実施状況について」ご質問いただき、それぞれ状況を報告しました。本日18日、午前中に苗木城築城500年事業実行委員会運営会議が開催され、秋のイベントとして10月4日に開催予定の苗木城まつりについて協議いたしました。10月は六斎市の開催、JRのさわやかウォーキングの開催と同時となり、中心市街地と苗木城跡の2会場でイベントを実施します。詳細が決まったら報告させていただきます。

今後については、明日6月19日、少年の主張大会が開催されます。23日、市民と市長との対話集会が中村区の女性部とあります。この中で、高齢者に対する社会教育の取組等についてのご質問をいただいております。同日23日、中京学院大学の夏の激励会で、大学の各クラブの全国大会出場等の激励会が行われます。26日、図書館協議会を開催し、今年度図書館で策定する計画についての協議をいただきます。7月5日、社会を明るくする運動中津川市大会が予定されています。以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

三尾委員。

■三尾委員 付知のぞみ幼稚園の総会兼保護者説明会において、どのような意見が出たか教えてください。

■教育長 伊藤教育委員会事務局長。

■事務局長 中津川市教育委員会で今考えていること4つほどを保護者に説明しました。市の方針を初めて聞いたということで、もう少し早く開催してほしかったというお話を冒頭にいただきました。

付知のぞみ幼稚園を大切にしてきた保護者の皆さんなので、園で行なってきた取組が今後どうなっていくのか、また、園自体が今後いつどうなっていくのか、そのようなことを含めていろいろなご質問をいただきました。イメージとして、今の付知のぞみ幼稚園が本当にいいと思って園に通わせている保護者が多いということだと思います。とても不安に思っているというようなご意見をいただいたところです。

■教育長 ほかはいかがですか。

ご質問等がないようですので、日程第4、議事に入ります。本日、提案する議事について、事務局から説明します。

森事務局次長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■教育長 それでは、日程第1 報第5号「専決処分の承認を求めることについて」提案説明をお願いします。

森事務局次長。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

三尾委員。

■三尾委員 今回購入するノートパソコンは何年ぐらいまで使用する予定ですか。

■教育長 森事務局次長。

■事務局次長 前は5年リースだったため5年で返還する必要がありましたが、今回は購入しますので、壊れなければ、またOSがWindows12になる等のことがなければ、7年8年と使えます。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 よく分かりました。やはり購入の方がいいですね。

何年か先に新しいものに換えるものに対して「財産」という言葉が適しているかどうかと思いますが、市政の中ではどのように使っているのでしょうか。

■教育長 森事務局次長。

■事務局次長 イメージ的にはそうかもしれませんが、2千万円以上の動産と不動産に対して「財産」というと条例で決まっています。予定価格で2千万円以上の場合、議決が必要になります。今回の契約金額は1900万円ですが、予定価格が2千万円を超えておりましたので議決案件になっております。

■教育長 ほかはいかがですか。

ご意見、質問等ございませんので、ご異議がなければ、報第5号については承認ということによろしいでしょうか。

〔 異議なし 〕

■教育長 報第5号「専決処分の承認を求めることについて」は、原案どおり承認とします。

議事日程第2に入る前に、文化スポーツ部より先月の予算説明に関して報告があります。

林文化スポーツ部長。

■文化スポーツ部長 先月の議第22号「中津川市議会に提出する議案の意見について」の令和8年度中津川市一般会計補正予算のうち、教育に関する事務に係る部分の中で、歳出のスポーツ政策事業・アジア大会ホストタウン事業補助金について、金額については調整中だとして説明をさせていただきました。その後、関係団体とのスケジュールが合わず、予算計上そのものを見送り、予算計上なしとなりましたのでご報告させていただきます。

■教育長 青木生涯学習スポーツ課長。

■生涯学習スポーツ課長 先月の委員会において、教育長より下呂市民の加子母B&G海洋センターの利用状況についてのご質問がありました。令和7年度の全利用者数は8475人です。そのうち下呂市民の利用者数は4215人です。

■教育長 ただいまの報告について、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

ご意見、質問等ございませんので、議事日程第2に入ります。

日程第2、議第23号「令和9年度使用中津川市立阿木高等学校用教科用図書の採択について」提案説明をお願いします。

市川阿木高校事務長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

橋本委員。

■橋本委員 採択については承認します。議事録を読むと、多くの先生が本校の生徒に適しているという理由で教科書を選んでおられます。その中で数学の先生が、「本校の生徒には適しているけど進学に対応するのが難しい」と言っておられました。阿木高校は学び直しや丁寧なキャリアカウンセリングが特徴で良い高校だと思いますが、進学に対応するのが難しいという意見が出たことについてどのようにお

考えですか。

■教育長 佐々木教務主任。

■阿木高校教務主任 まず一点、数学以外にもですが、専門教育を行っている関係で教育課程上の教科数が非常に少ないということが挙げられます。今までも進学を希望する生徒は、放課後等の補充で実施をしておりましたので、そのような生徒に関する教科書はここには上がってこないということです。また、生徒数が減っていることもあり、進学を希望される生徒が1人、2人と非常に少ない状態です。就職は市内を中心に実現できていますが、この教科書では進学希望者を含めた全員に対応しきれていないというのが現状です。

■教育長 橋本委員。

■橋本委員 進学希望の生徒が増えているのかと予想して読みましたが、そうではないのですね。進学希望の生徒には個別に対応してくださっているということなので、いいと思います。

■教育長 ほかはいかがでしょうか。

三尾委員。

■三尾委員 教科書については承認です。国語でいうと大修館、第一というような発行者の名前がありますが、いくつぐらいの会社をピックアップしているのでしょうか。それを教科担当者が研究調査してこの選定会議に上げると捉えてよろしいですか。

■教育長 佐々木教務主任。

■阿木高校教務主任 ご指摘のとおりです。国語、数学、社会、理科あたりは、発行されると献本という形でかなりの本が学校に来ておりますので、そこから選定いただいたものを校内の委員会で確認する作業をしております。

■教育長 ほかはいかがでしょう。

三尾委員。

■三尾委員 昨年もお聞きしましたが、単位取得についてお聞きします。学び直しの時間では、中学校の教科書やプリント類を使うことがあるのかということと、学び直しの単位数は資料でいうとどこに表れているのかということをお聞きしたいです。

■教育長 佐々木教務主任。

■阿木高校教務主任 教育課程表の中にある学校設定という科目が学び直しの科目になります。特にマルチベーシックの1、2、3という単位数になります。これは4年で卒業する予定の生徒の学び直しです。3単位というのは週3時間ですが、毎朝30分ずつ行なって1週間で3単位という計算になります。

3年で卒業する生徒の学び直しはカルチベーションという教科で、これは授業の中に週2回設定をしております。キャリアデザインは就職用ですので、学び直しではありません。

教材は原則教員の手作りです。生徒によって理解度が違いますので、一斉にできる部分とできない部分があり、それぞれ違うものをできるだけ利用していただくようにしております。

■教育長 三尾委員。

■三尾委員 ありがとうございます。阿木高校に進む子どもたちが、中学校のところや自分の詰まっているところまで遡って、土台を一からやっていただけるのは本当にありがたいことですので、これからもどうかよろしくお願いいたします。

■教育長 ほかはいかがでしょうか。

田口委員。

■田口委員 学び直しについて、先生の手作り教材によって毎日毎週行われているということですが、先生方の時間の負担はいかがでしょうか。

■教育長 佐々木教務主任。

■阿木高校教務主任 中学校の学びの場合もありますが、教科によっては小学校の高学年あたりまで戻る必要もありますので、何年もかけて積み重ねた教材を改良しながら使っています。また、クロームブックに学び直しのドリル等、無料で使えるものもありますので、そのようなものも工夫して利用しています。

■教育長 ほかはいかがでしょうか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第23号については、承認ということでよろしいでしょうか。

〔 異議なし 〕

■教育長 議第23号「令和9年度使用中津川市立阿木高等学校用教科用図書の新採択について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、議第24号「令和9年度中津川市立阿木高等学校の入学定員について」提案説明をお願いします。

市川阿木高校事務長。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願い

します。

■橋本委員 その年の入学者数と、過去にいただいたその年の入学に該当する子どもが何人生まれているかを私なりに照らし合わせて計算したところ、令和5年度はその年に入学する子が生まれた人数に対して一番多くて4.8%。一方で令和7年度が一番少なくて3.27%でした。人数的にも割合的にも入学者数が減っていますが、この理由にはどのようなものがあると考えられますか。

■教育長 市川阿木高校事務長。

■阿木高校事務長 理由を知るのは少し難しいところがあります。生徒数が過去から順に減ってきていることも大きいですが、阿木高校に来ている生徒は、ご承知のとおり、療育手帳を持っている子や小中学校で不登校だった子が大半を占めています。また、家庭環境での経済的な理由もありますが、そのようなところが減ってきていると感じます。阿木高校としては人数が少ないのは寂しいところもありますが、小中学校の段階で不登校の子を減らしていただいているという、皆さんの協力があると私個人としては考えております。

■教育長 佐々木教務主任。

■阿木高校教務主任 生徒が減っているのは事実ですし、近隣の学校も定員がかなり割れているのも事実です。また、私立の高校を選ぶ方も増えており、多くの方が通学されています。現在阿木高校に通う生徒の層は、事務長が言ったように、学び直しが必要であったり、経済的な理由がある方が非常に増えていますが、市としてはそのような方はおそらく減っているのではと思います。私立の通信制の方が時折お話にみえて、阿木高校で続かない場合に通信制はどうでしょうと言われますので、生徒自身で通信制の高校を選んでいても増えているのかなという気はします。

また、中津川市、恵那市よりも瑞浪市、多治見市からの生徒の数が本当に減っています。令和4年以前は、それらの市からもそれなりの人数が申し込まれていましたが、今は非常に少ないと感じています。

■教育長 ありがとうございます。生徒を送り出す中学校側から見たときはどうでしょうか。

花田教育次長。

■教育次長

阿木高校に限らず、公立高校のほとんどが定員割れの状態にあります。不登校を経験した生徒や、特別支援学級に在籍した生徒の中には、コミュニケーションに苦手を感じている生徒が数多くいます。そういったことから、通信制の高校を選ぶ傾向が強くなってきていると感じます。各中学校には、そのような子が成長するためには、阿木高校のような面倒見のよい、人と関われる学校に進学すべきだという進

路指導をしてほしいとは繰り返しお願いしていますが、現実的に早く進路が決まることや家でも学べるといった手軽さから、通信制の高校を選ぶ生徒も多いです。これは公立高校が定員割れしている原因にもなっていると感じています。

橋本委員。

■橋本委員 大変参考になりました。ニーズに合っているのか、現状に合っているのかということが気になって質問しましたが、今のお話を伺い、逆に今のニーズにすごく合っているのにみんな気づいていないと感じるので、必要な生徒たちが通えるようになると思います。

■教育長 ほかはいかがですか。

三尾委員。

■三尾委員 いろいろな問題が重なって生徒数が減っていると思いますが、阿木高校は本当にいい高校ですので、特色のあることをもっとPRしていけるといいと思いました。

話は変わりますが、定員についてです。40人の定員というのは非常にありがたい人数だと思います。これは、希望者や入学者が今後減ってきた場合、入学定員が減らされたり、もしくは学校そのものがなくなったりといったことは心配ないでしょうか。法律的な部分もあるかと思いますが教えてください。

■教育長 佐々木教務主任。

■阿木高校教務主任 心配は尽きませんが、40人というのは国の基準になっています。これを市独自に30人や20人にしてしまうと教員の数が減りますので、40人という部分は揺るがないでほしいと思っています。国が教育を手厚くするために1クラスの定員を30人に変えた場合、職員数も変わらなければ良いとは思いますが、定員は40人のままでいきたいというのが職員の願いであります。

本日、学校案内のパンフレットを配らせていただきましたが、これはかなりの部数を刷って、中津川市、恵那市に生徒数分配ってPRしております。元気に頑張っている在校生も、中学校を訪れて「阿木高校ではこういうことをしている」と話してくれたり、六歳市に参加してくれています。そのような外のイベントには、生徒自身もやる気を出して、次の入学生が増えるのではないかという思いで参加しております。またご支援よろしく申し上げます。

■教育長 ぜひ応援していただけるとありがたいです。

ほかはいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、議第24号については、承認ということでよろしいでしょうか。

〔 異議なし 〕

■教育長 議第 24 号「令和 9 年度中津川市立阿木高等学校の入学定員について」は、原案どおり承認とします。

これをもちまして本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは事務局から次回の開催日程について報告をお願いします。

森事務局次長。

〔 事務局から次回日程の報告 〕

■教育長 次回は、令和 8 年 7 月 8 日、水曜日、13 時 30 分から、本町分庁舎会議室 1 にて定例会を開催いたします。

以上で、令和 8 年第 7 回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れさまでした。

〔 閉 会 （午後 2 時 30 分） 〕

